

事業スキーム

当社は、日本道路公団の分割・民営化により2005年10月1日に設立されました。高速道路資産とその債務は高速道路機構[※]が保有し、高速道路会社各社は、高速道路機構から資産を借り受け、運営管理を担っています。

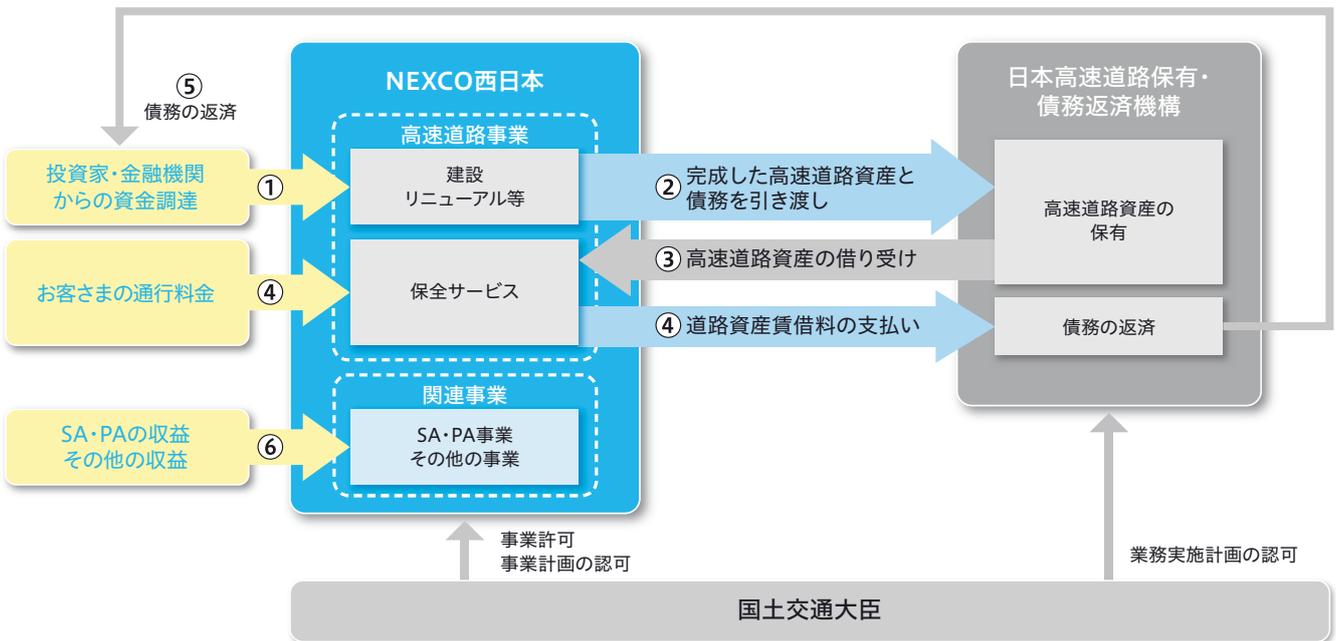
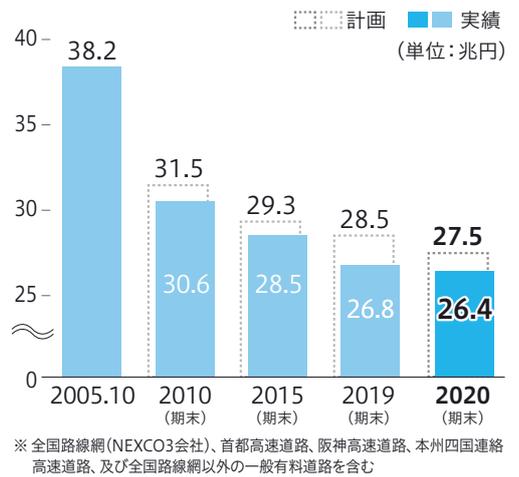
※「高速道路機構」：独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構

民営化の目的

1. 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
2. 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
3. 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。



高速道路機構の債務残高



- ① 高速道路の建設・リニューアル等は、投資家・金融機関から調達した資金を原資に行います。
- ② 完成した高速道路資産は、事業費と同額の債務とともに、高速道路機構に引き渡します。
- ③ 高速道路会社は、高速道路機構から高速道路資産を借り受け、高速道路の通行料金の收受や維持管理等の保全サービスを行います。
- ④ お客さまから收受した通行料金は、保全サービスにかかる事業費及び高速道路機構への道路資産賃借料の支払いの原資となります。
- ⑤ 高速道路機構は、道路資産賃借料を原資として、投資家・金融機関へ債務の返済を行います。
- ⑥ SA・PA事業等の関連事業は、SA・PA事業等の収益を原資に、事業運営を行っています。